



Workday ラーニング

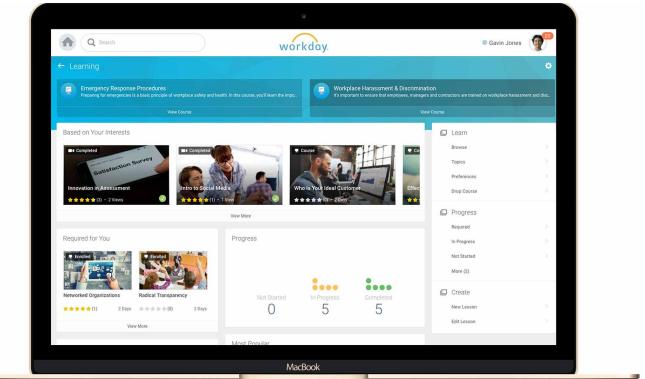
学習の性質は変わりました。消費者世界に溢れる高品質な「ハウツー」コンテンツにより、簡単に物事についての理解を深めることができるようになりました。しかし、企業内部での学習についてはそうはいきません。

Workday ラーニングは、学習に対して他とは異なるアプローチを提供します。これにより、従来の切り離された柔軟性のないエクスペリエンスが、個人向けサービスに似た、関連性が高く、カスタマイズされたオンデマンドのエクスペリエンスへと変わります。Workday ラーニングは、能力開発、相互学習、そして必須トレーニングを単一の直感的なアプリケーションに統合しているため、社員はこれまでとは違うやり方で学習に取り組めます。

最新のラーニング エクスペリエンスで社員の意欲を向上

Workday ラーニングは、個人向けサービスに似た、ソーシャルな環境での学習を提供できる、ダイナミックなラーニング エクスペリエンスで、社員の意欲を高めます。社員は、自分のラーニング エクスペリエンスを自分でコントロールでき、現在のそして将来の職務に関連するコンテンツを探し出すよう設定をカスタマイズでき、必要な資料にアクセスすることができます。

学習は決して一方的なものではありません。Workday を使えば、双方向的な問い合わせやテストを含んだ動画で、知識の学習と共有ができるようになります。社員によるコンテンツは、ニーズに合わせて簡単に増やすことができ、設定可能な承認プロセスにより管理できます。これにより、コンテンツと企業目標との整合性を確保しつつ、コンテンツの作成にかかる費用と時間を削減することができます。



目標とキャリアゴールをサポートするべく学習をカスタマイズする。

Workday ラーニングを使えば、社員一人ひとりにカスタマイズされたコンテンツを提供することができます。特定のスキルや知識を構築するコンテンツを揃えたら、キャンペーンを使って、特定のグループのみ、また社員全員に、関連するコンテンツを直接配信することができます。

社員のライフ サイクルにラーニングを組み込む。

Workday は、財務および HCM と真の意味で統合したこれまでにないラーニング システムを提供します。この自然な統合により、学習を社員のタッチポイントに組み込むことができるようになります。例えば、特定のコンテンツをオンボーディング プロセスに取り入れたり、ゴール設定時に利用可能な学習機会を確認したり、社員の異動・昇進時に適切なトレーニングを推薦したりといったことができます。学習は、社員の意欲向上にとつて欠かせないものであり、スキル開発と柔軟なワークフォースの実現に貢献します。

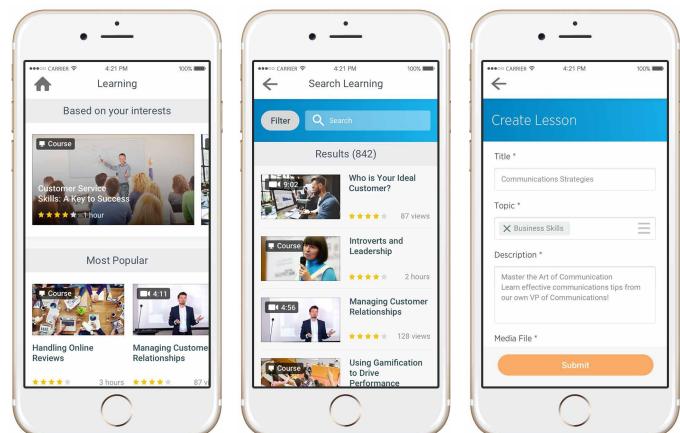
ラーニング イニシアチブの影響を理解する。

学習管理者、ピープル マネージャ、そして執行役員は、ラーニング プログラムの活動と効果に関する包括的なインサイトをデータとともに簡単に入手でき、現状の可視化が可能になります。レポートとダッシュボードが、Workday ラーニングの活動や成果を反映し、トレーニング内容を Workday 内の他のデータと相関づけることにより、傾向や今後の可能性を明らかにします。



単一システムの一部として。

Workday ラーニングは、単一システムの一部であるため、ビジネス プロセス フレームワーク、単一データモデル、包括的レポートとアナリティクス、セキュリティなど、Workday の基盤テクノロジーを活用でき、現在お使いの HCM 環境に素早く同化します。そしてこのインフラが、急速なイノベーションの基盤となります。



包括的な機能

学習管理

管理者は、ラーニング プログラムの作成、更新、設定、レッスンやコース（必須、選択、オンデマンドに設定可能）の構築、編集、特定の対象者に対するコンテンツの提供、社員の一括登録、成績に関する要件とウェイティングリストの管理、提供内容のバージョン変更と拡張などを、簡単に実行できます。

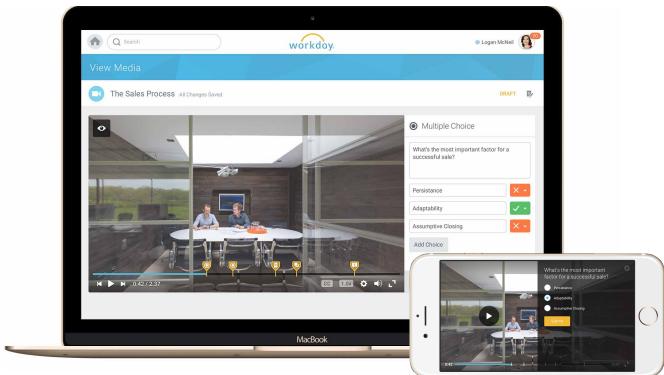
複数の要素からコースを構成

Workday ラーニングは、オンライン、対面型、またはその両方を組み合わせたコースを提供でき、地域、時間、部署に合わせて、コースのバージョンを変更できます。動画、講師によるトレーニング、ウェブセミナー、文書、基準ベースの e ラーニングを組み合わせて、ダイナミックで関連性の高い複合コースを作成できます。コースのレビュー、修了状況、アンケート結果を追跡し、認定制度やコンプライアンス イニシアチブに活用できます。

最新のコンテンツ

Workday ラーニングでは、全員が生徒であり、全員が先生です。社員は、ビデオや他のコンテンツのアップロード、共有、編集ができます。パッケージ化されたコンテンツ (SCORM や AICC) のような従来の e ラーニング コンテンツも利用可能です。

Workday ラーニングは容量無制限のコンテンツであり、高画質のビデオをグローバル規模で変換、コーディング、配信可能な動画プラットフォーム上で、動画を配信します。インターラクティブなテスト、自由回答式の設問、コメントを活用することで、動画は効果的な学習を実現する能動的な媒体となります。



ラーニング キャンペーン

Workday のすべてのデータにアクセスできるため、社員の特性やアクションに基づき、関連するコンテンツを配信するキャンペーンを作成することができます。サービス組織に対して必須トレーニングを割り当てたり、新しくマネージャとなった社員へリーダーシップトレーニングを実施する際に、適切なコンテンツを、適切なタイミングで提供できます。

ソーシャル ラーニング

Workday ラーニングを使えば、社員は幅広いコンテンツを活用することができ、学習意欲とコンテンツの共有が促進されます。ユーザーがコンテンツを評価、共有、協働することで、学習が、組織の中で重要な役割を担うようになります。社員は、自分のレッスンを組み立てることができ、コンテンツに対する管理者のコントロールの度合いも自在に選択可能です。

学習に関するインサイト

Workday のあらゆるデータを組み合わせた柔軟性のあるダッシュボードとレポートで、学習の価値を評価し、その成果を表示。分析により、埋めるべきギャップや機会を特定し、学習を有効活用してよりよい結果を生み出します。管理者用ダッシュボードにより、戦略的ラーニング マトリクスを一目で確認できます。講師用ダッシュボードには、担当トレーニングの日程が表示され、講師は各コースに直接移動して、受講者リストや成績を管理できます。



新たなアプローチ

Workday ラーニングは、これまでの構造プラットフォーム、管理、そしてインサイトに最新のラーニング フレームワークの長所と魅力を加え、職場における学習を再定義します。可能性の発掘。